

# プロジェクト事例に学ぶ！ 陥りやすいレガシーオープン化の落とし穴と対策

---

2015年4月23日

株式会社ワンサークル

代表取締役 星野 亨



# 会社の紹介

レガシーシステムに関する  
課題解決の専門会社です

大手システムインテグレータでの経験を通じて、レガシーシステムユーザー様への技術コンサルタントとして設立しました。

主な事業内容

- ・技術顧問サービス
- ・技術支援サービス
- ・情報発信活動

# アジェンダ

---

1. レガシーモダナイズの全体像
2. レガシーモダナイズの課題事例
3. 当社の提言

# 1. レガシーモダナイズの全体像

---

# レガシーシステムのレイヤと特徴

レイヤ	技術領域
ユーザー層	業務処理の実現に必要な技術領域
メカニズム層	業務プログラムの実行に必要な技術領域
コンテキスト層	業務システムの稼働に必要な技術領域



# レガシーモダナイズの課題要素

レイヤ	分類	検討すべき課題要素
ユーザー層	プログラム	業務仕様、プログラム言語
	入出力	業務データの格納先、出力媒体
	データ	業務データ実体、符号化方式
メカニズム層	API	業務プログラムが呼び出す機能
	処理方式	プログラムを実行する機能
	外部連携	外部・周辺システムの連携機能
	ユーティリティ	ベンダー提供、個別開発ツール
コンテキスト層	非機能要件	非機能要求グレード(2014.2.12独立行政法人情報処理推進機構)等で規定
	固有要件	システム固有の要件、過去の経緯

## 2. レガシーモダナイズの課題事例

---

# 課題事例のご紹介

レイヤ	企画・計画 (共通)	設計・変換(ケース別)			試験 (共通)
		Apj	Bpj	Cpj	
ユーザー層	移行資産 確定	製品機能カバレッジ オンバッチ連携処理 ファイル連携製品			照合試験カ バレッジ・ 手順
メカニズ ム層				正規化(マルチレイアウト、 繰り返し項目) COBOL独自データ属性 初期値(LowValue,null)	
コンテ キスト 層	接続先毎に異なる通信手段 大量のユーティリティ サーバ分割による影響 TSS画面を使用した運用 アプリ開発、デプロイツール 端末認証、アクセス認可		階層型DBのAPIサポート COBOL独自データ属性変換 JCL・バッチスケジューラ互換 ユーティリティ調査		



# 課題発生特性マトリックス

レイヤ	分類	企画・計画	設計・変換	試験
ユーザー層	早期の資産確定プログラム	移行資産確定	オープン化方針に依存して難易度が変化	照合試験シナリオ
	リホスト: 命令互換性 リライク: 言語変換性 リビルド: 仕様、要件復元性 データ移行: 共通・最大の課題 データ正規化: 費用対効果			業務知識が必要
	API		照合条件	
メカニズム層	レガシー製品独自の機能、実現手段の洗い出し 外部連携		システム毎に発生傾向が異なる	カバレッジ目標の事前設定
	ユーティリティ		現行実現手段にこだわると深刻化	
コンテキスト層	レガシーとオープン系は実現手段が異なる。 非機能要件 レガシー手段は捨て、オープン製品を活用したSLA実現を行う 固有要件			共通の課題
				個別の課題

# ソリューションカバレッジマップ

レイヤ	分類	変換サービス	リホスト製品	マイグレーションサービス	システム再構築
ユーザー層	プログラム	◎	○	◎	ユーザーニーズに合わせたソリューションの選択と組み合わせ
	入出力	△	○		
	データ	△	○		
メカニズム層	API	△	◎	○	
	処理方式	N/A	○	○	
	外部連携	N/A	△	△	
	ユーティリティ	N/A	△	△	
コンテキスト層		N/A	N/A	ユーザーサポート	個別システム構築

カバー範囲を理解した選択・組合せが重要

中核となるソリューション

# 3. 当社の提言

---

# 当社の提言

大分類	中分類	提言内容
ユーザー層	プログラム	変換率は実現性の評価尺度にならない 移行対象資産の早期確定 照合試験シナリオ、実績が有効
	入出力	言語独自の業務フォーマットが必須
	データ	照合試験でのカバレッジ目標設定
メカニズム層	API	全調査で全ての機能を洗い出す
	処理方式	現行有識者へのヒアリングが必須
	外部連携	からの調査
	ユーティリティ	
コンテキスト層	非機能要件	現行システムの実現手段に固執しない
	固有要件	過去の経緯の洗い出しと取捨選択 大胆な割り切り

# 当社の取り組み

「レガシー問題のセカンドオピニオン」としてレガシーシステム特有の課題と将来構想に応じたアドバイスをを行います。

網羅的・中立的な  
アドバイス

- ・ システム目線による網羅性
- ・ ベンダー中立の立場

業界ソリューションとの  
協力関係

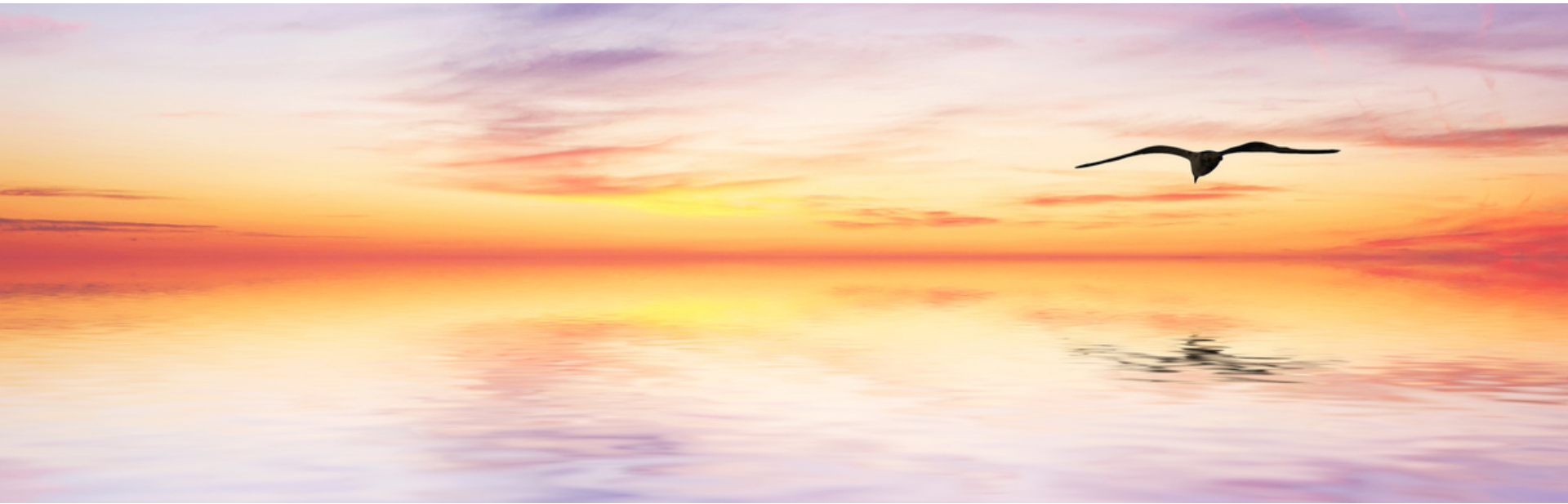
- ・ 業界ベンダー様との協力関係
- ・ 最適なソリューションのご紹介

メインフレームへの理解

- ・ ユーザーITシステムへの理解
- ・ コンテキストに至る現状把握

# ご清聴ありがとうございました

---



お気軽にご連絡ください

株式会社ワンサークル

ホームページ: [www.1circle.co.jp](http://www.1circle.co.jp)

TEL: 045-550-3495

FAX: 045-550-3496

E-mail: [info@1circle.co.jp](mailto:info@1circle.co.jp)

